



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2005.12

No. 260

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



おがさわら丸航海記

榎本秀和（鴻巣市）

◇9月9日

ジャ〜ン、ジャ〜ン、ジャンジャン……。出航を告げるドラの音が鳴りわたる。

朝10:00すぎ、小笠原航路定期船「おがさわら丸」(6,700t)は、ゆっくりと東京港竹芝栈橋を離岸した。船が小笠原父島に着くのは明日の11:30。東京から1,000km、25時間半の航海の始まりである。

デッキ上は、既に所狭しと三脚が立ち並んでいる。皆、海鳥ウォッチングを楽しもうというバーダーやカメラマンのものだ。

ウミネコやアジサシに見送られて、船は静かに東京湾を進んで行く。そのうちオオミズナギドリもちらほら飛び交い始める。

今回の航海は、半ばバーダーのための航海のようなものだから、船は三宅島の西側間近の航路を取ってくれて、サービス満点だ。

5年ぶりに見る三宅島は、噴煙もなく、予想以上に緑が復活している。毎年、三宅島で探鳥会をやっていた者としては、ただただ懐かしい。

三宅島の南、御蔵島を過ぎる頃、アナドリが飛び始める。春はオーストンウミツバメが多いが、秋はアナドリが多い。しかし、この日のクライマックスは16:15。カツオドリがアオツラカツオドリと連れだって飛来したときだ。これだから船上ウォッチングはやめられない。

◇9月10日

05:20、デッキへ出る。06:30、オオシロハラミズナギドリ2羽とすれ違う。後頸の白がひときわ目立つ。

海はもう亜熱帯の色だ。オナガミズナギドリやシロハラミズナギドリが波を薙いで飛んで行く。

11:30、父島二見港へ入港。イソヒヨドリ、

メジロ、オガサワラヒヨドリ、オガサワラノスリが迎えてくれる。旅の途中のシギ・チの姿も見える。

このあと19:00、再び乗船。いよいよ今航海の目玉、硫黄列島三島クルーズへ出航だ。

◇9月11日

05:20、デッキへ出るとアカアシカツオドリが船に付かず離れず飛んでいた。

目の前には、既に南硫黄島が聳え立っている。白い鳥影が見えてくる。アカオネツタイチョウだ。数は少なくないが、如何せん距離があって、細い尾まではわからない。シロアジサシが一直線に飛び去る。

船は島を二周して、硫黄島へ向かう。

かつての激戦地、硫黄島は扁平な島だ。繁殖地だけあってクロアジサシが多い。

船は硫黄島を一周する。そして、長い汽笛を鳴らす。戦没者追悼の鎮魂の汽笛だ。1分間の黙とう、献花。船は再び汽笛を鳴らして次は北硫黄島を目指す。

北硫黄島も海に聳え立った断崖の島だ。この島でも期待どおりアカオネツタイチョウが飛んでいる。そして、シロオネツタイチョウも白い尾を引いて舞っているではないか。シロオネツタイチョウはアカオより尾が太いので、尾の先端までしっかり見える。

船はこの島も二周する。アカアシカツオドリのコロニーも見える。そして、赤い一閃、アカオネツタイチョウの尾が見えた!

北硫黄島を後にして、再び父島へ。途中、アカアシカツオドリが船の周囲を飛ぶ。マストに止まってバーダーたちを喜ばせる。

19:00、父島二見港着岸。

◇9月12日・13日

07:30、連絡船「ははじま丸」(490t)で母

硫黄島三島までのルート

島へ遠征。母島ではメジロ、オガサワラカワラヒワ、ハシナガウグイスをゲット。ここでもメジロは多い。

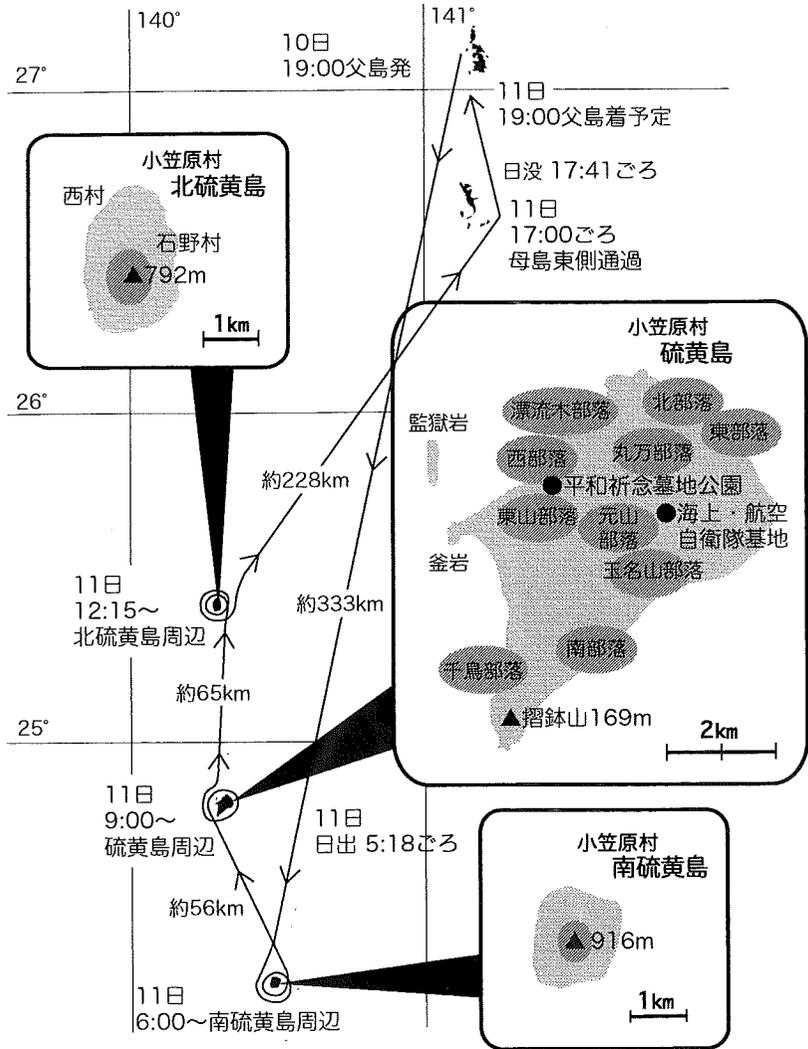
父島のメジロを含め、小笠原のメジロは移入種だ。シチトウメジロとイオウトウメジロの交雑個体群とされている。

翌朝10:30の「ははじま丸」で父島へ戻る。

14:00、再び「おがさわら丸」に乗船。この船旅もいよいよ終わりが近い。

船が出航すると、10隻ほどのクルーザーやモーターボートが30分ほど沖合いまで見送ってくれる。

皆、手を振り、声をかけ合っただけの見送りの光景は何度経験しても胸キュンものである。



◇ 9月14日

小笠原海運(株) (03-3451-5171) のパンフレットから

例によって05:20、デッキに出る。

船は八丈島の南海域を航行している。

07:00、9時から10時の方向に虹のアーチ。往路とは反対に、海の主役がオオミズナギドリに代わってゆく。まだアナドリは見える。

房総半島がうっすら見え始めた頃、アカエリヒレアシシギ数羽の群れがポツポツと、1時間ぐらいの間に合わせて30羽以上出る。

やがて船は、ウミネコに迎えられて東京湾内へ。

15:30、竹芝棧橋接岸。

天候に恵まれ、鳥にも恵まれた6日間。亜熱帯の直射日光は強烈だったけど、海はどこまでも青かった。わさびの代わりに辛子を使うサワラの島寿司も旨かったし、ウミガメの刺し身も食べた。

今、船旅を終えて下船した私は、今度は人の波に乗ってJR浜松町駅へと急ぐ。

今回のクルーズでは3種(オオシロハラミズナギドリ、シロアジサシ、シロオネツタイチョウ)増え、私の国内ライフリストは425種となった。



野鳥情報

さいたま市見沼区大宮第三公園付近 ◇4月

21日、芝川でアカエリヒレアシシギ(森田厚)。◇8月16日、芝川中州にコガモのエクリップスが1羽しゃがみ込んでいた。少し下流の防災センター近くの電線にコムドリ♀が羽を休めて、確実に秋の足音が聞こえてきている。9月9日、台風の影響でまだ増水気味の芝川にアオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギが揃って餌を狙っていた。傍でカイツブリが自分の半分もあるうかと思うザリガニをくわえ奮闘、近くの杭からカワセミがさかんにダイビング(赤堀尚義)。

さいたま市見沼区大谷 ◇9月5日、環境広場の草地で腰を振り振り採餌するクサシギ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区大宮南部浄化センター付近 ◇9月12日、秋晴れの早朝、川岸の草の中からミゾゴイが飛び出し、少し飛んでとまり警戒した眼差しでこちらを凝視していた(赤堀尚義)。

さいたま市岩槻区加倉5丁目 ◇6月9日午後6時30分、岩槻ファミリーゴルフの鉄塔でチョウゲンボウ1羽、盛んに鳴く。6月10日～13日も同所でチョウゲンボウ1羽、同じように鳴いていた。6月14日、チョウゲンボウ2羽。6月19日までチョウゲンボウの鳴き声を聞き、姿を見る。6月20日以降は確認できず(藤原寛治)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇7月20日、ムクドリの大群中、コムドリ♂♀20羽+が混じっていた。7月21日、コムドリ全体では50羽+はいる。巣立ちピナを含むシジュウカラ5羽+の小群にコゲラ2羽。7月25日、コムドリあちこちに。一本の木に17羽数える。コアジサシがツバメにモビングされながらも元荒川にダイビング。9月8日、ムクドリ群れ中にコムドリ確認。7月から観察されていた個体と同じなのか、別なのか? 見上げるとショウドウツバメ約20羽。9月9日昼過ぎ、低空をサシバが飛翔、コムドリ。9月14日、オオタカが

カラスたちにいじめられながらも、風格感じる姿を見せてくれた。9月16日、やっどエゾビタキ1羽確認。会いたかった～(鈴木紀雄)。◇8月28日午前9時頃、釣堀西側の畑でコチドリ1羽。元荒川でダイサギ1羽、コサギ2羽、ゴイサギ成鳥3羽、幼鳥5羽(藤原寛治)。

さいたま市北区吉野町2丁目 ◇6月19日、カッコウの声を聞く(藤原寛治)。

さいたま市緑区大門 ◇6月24日、浦和美園駅と国道をはさんだ南側の造成地で約20羽ほどのコアジサシの小コロニーを発見。7月8日、同所でコアジサシがいるにはいるが、遠いので営巣しているかどうかは不明。7月13日、同所でコアジサシ10番程度が見える。工事も進んでいるようだ。ようやくヒナ2羽が動いているのが確認できた。なんとか無事巣立って欲しい(鈴木紀雄)。

さいたま市浦和区つきのみや公園 ◇7月3日、ツミの雛5羽、巣から出て、近くの林の中を飛び回っている。その内3羽は、母親から餌を貰うときは巣に戻る。まだ枝の上では食べられない。2羽は、枝の上で餌を貰い、落とさずに食べられるようになった(海老原美夫)。

さいたま市大宮区防災センター付近 ◇9月16日、コガモ11羽がカルガモの群と一緒に餌を探していた。コガモは落ち着かない様子、時々飛びたっては場所を変えていた。岸边ではイソシギ2羽、追いかけるように飛び回っていた(赤堀尚義)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇8月19日、A'区治水橋下の芝生でムナグロ127羽、久しぶりの大群(鈴木紀雄)。◇9月6日、刈り取りの終わった水田にコサギを押さえ込んでいるオオタカ、車の中から暫く見ていたが鋭い目でこちらを警戒していた(赤堀尚義)。

蓮田市蓮田 ◇7月7日午前0時30分頃から約30分間、アオバズクが屋敷林で鳴いていました。「ホッホウ、ホッホウ、ホッホウ」と鳴いていたのでみだと思えます。一昨年までは、毎年声を聞いていましたが、昨年は聞きそびれ、今年また聞けて、ほっとし

ました。7月16日午前3時～3時20分、屋敷林からアオバズクの声、姿は見えませんでした。同日、向かいの家のテレビのアンテナでカッコウ1羽、しきりに鳴いていました(本多己秀)。

蓮田市笹山 ◇7月27日、休耕田の草の中でジシギ類1羽(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇8月30日、上沼で周囲を飛回るショウドウツバメ約20羽。その上空をふと見ると、サシバが1羽舞っていて、秋到来を実感(鈴木紀雄)。

越谷市恩間新田 ◇5月30日午後3時30分頃、ダイサギ2羽、コサギ1羽、アマサギ1羽、田んぼで盛んに採餌していた(小菅靖)。

越谷市大道 ◇5月31日午後5時頃、コチドリ1羽、公園予定地の雑草の中から飛び出す(小菅靖)。

吹上町袋 ◇6月7日午後2時、ある建物にチョウゲンボウ2羽。同建物には、約10年位前からチョウゲンボウが繁殖しています。午後2時30分頃、元荒川でシマアジ1羽、ゆっくり泳いだり、羽繕い(逸見嶮)。

東秩父村定峰峠 ◇7月2日、峠で休んでみるとヤマガラ3羽。遠くからイカル、コガラ、クロツグミの声。近くからのアカゲラの声に目を凝らすも、緑の中、姿見えず(鈴木紀雄)。

川越市南古谷 ◇8月18日、ムナグロ約50羽、ジシギ類1羽、コチドリ2羽、全て飛翔。8月19日、草の生えた休耕田でヒバリシギ2羽、草の間を歩き回って採餌していた。8月30日、休耕田でアカエリヒレアシシギ冬羽1羽。草の生えた休耕田に不用意に近づいてジシギ類5羽を飛ばしてしまった。探し回って、車内から、草の中の1羽を確認。尾羽を開いていて、チュウジシギと識別できた。9月7日、水のたまった休耕田でアオアシシギ1羽、チュウジシギ2羽、タシギ2羽他(鈴木紀雄)。

所沢市山口 ◇7月23日午後4時38分頃、遊歩道に佇むツミのみ幼鳥。歩行者が来て木の上に飛び立ちましたが、その後にはまだ巣立ちまでもう少し時間のかかりそうなメジロの雛が2羽。大きな地震があった直

後でした。親が大騒ぎをしています。縁石に雛2羽を移し、少し離れて様子を見ることにしました。1羽はオカメツタの中に逃げ込みましたが、もう1羽は恐怖でかたまっています。ツミは5mほど離れた低い枝に止まっています。そこで土の上に移してやると、ツタの中に大慌てで逃げ込んでいきました。ツミもお腹が空いていたのだと思います。つつい弱いものを助けたくなります(小林ますみ)。

表紙の写真

スズメ目ホオジロ科ホオジロ属オオジュリン
(編集部)

◎ 東京支部から、カラスのねぐらウオッチャー募集のお知らせ

昨年度までに、東京駅から半径50km圏に100カ所の集団ねぐらがあり、138,621羽のカラスがいることがわかりました。この冬からは、東京都庁を中心に、半径30kmの円内でのねぐらの追跡調査を行います。ちなみに、この圏内では54カ所・78,692羽となります。

年に1回(冬期)①ねぐらの存在の有無 ②おおよその数 ③その地域での大きな環境変化などをレポートしていただくものです。カウントなどは必要としません。簡単なものです。目的は、カラスの動向を常に監視して、何かあった時(例えば鳥インフルエンザなど)に対応できるようにしておくというものです。

埼玉県内で対象となるねぐらは次の通り。

[新座市] 平林寺、[川口市] 長徳寺、グリーンセンター、[八潮市] 八條親水公園、[さいたま市] 御蔵・愛宕神社周辺、大宮・氷川神社、大宮花の丘隣地、岩槻・久伊豆神社、[越谷市] 越谷・久伊豆神社、[狭山市] 赤坂の森公園隣地、[所沢市] 狭山湖・勝楽寺(以上11カ所)

※ ウオッチ希望のねぐら・ご芳名・連絡電話番号を下記にお知らせください。

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-18-16
新宿伊藤ビル3F TEL: 03-5273-5141
FAX: 03-5273-5142 日本野鳥の会東京支部・研究部(川内博)



行事案内



タゲリ (久保田忠資)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12 月 3 日 (土)

集合：午前 8 時 10 分、東武日光線柳生駅前、または午前 8 時 30 分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:11→春日部 7:25→栗橋 7:54→柳生 8:04 着。または JR 宇都宮線大宮 7:07→栗橋 7:41 着で、東武日光線乗り換え。

解散：午後 12 時ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中里、植平、鬼塚

見どころ：今シーズンも谷中湖の干し上げが行われるか不明ですが、カイツブリ類や潜水ガモも勢揃いする 12 月は、平日探鳥会と併せて 2 回実施することになりました。例年 12 月は珍鳥が多く楽しみです。防寒対策と昼食をお忘れなくお出かけください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12 月 4 日 (日)

集合：午前 9 時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス 8:40 発で「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野

見どころ：サクラの花芽は、花が散り、新しい芽が伸びてくるころに準備されてい

ます。冬鳥も、繁殖を終えるとすぐ旅仕度に入ることでしょう。あたたかく迎えてあげたいものです。ベニマシコは今年も来てくれるでしょうか。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

<差間コース>

期日：12 月 4 日 (日)

集合：午前 9 時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅西口バス 1 番乗り場から、浦和美園駅行き 8:31 発で「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、若林、新井(勇)、石田、赤堀

見どころ：心地よくて一寸冷たい空気。長旅を終えたばかりでまだ警戒心の強いツグミ。夏色から装いを変えたシメ。目がクリクリのジョウビタキ。最近サボってばかりの田んぼの貴公子。葉を落とした木々。冬を感じますね。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12 月 4 日 (日)

集合：午前 9 時 30 分、西武狭山線西武球場前駅前。

担当：石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持丸、小林(ま)

見どころ：今年から、冬季前半の狭山湖も加えました。ここ数年、冬の狭山湖は思

わぬ鳥が出現して楽しませてくれます。
この冬はどんな珍客が訪れるでしょうか？ 防寒対策をしっかりと。

千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：12月10日（土）～11日（日）
定員に達したので締め切りました。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月11日（日）
集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49
発に乗車。
担当：中里、和田、森本、後藤、大澤、石井
（博）、倉崎、高橋（ふ）、藤田、栗原、
飛田、新井（巖）、千島

見どころ：落ち葉を踏む音が心地よく聞こえ
ます。木々の装いも変わり、鳥たちの
にぎやかな季節が巡ってきました。冬
鳥との再会を求めて明戸堰まで歩きま
しょう。コハクチョウも皆さんをお待
ちしています。

さいたま市：岩槻文化公園探鳥会

期日：12月11日（日）
集合：午前8時40分、東武野田線岩槻駅前。
または午前9時15分、文化公園駐車場
（国道16号側）
交通：東武野田線大宮8:16発、または春日
部8:23発で岩槻下車。集合後バスで
現地へ。
担当：長野、田中、長嶋、中村（榮）、吉安、
松永、榎本（建）、野村（弘）、小林（善）
見どころ：身近な公園で冬鳥をじっくり観察
しましょう。ベニマシコ、ルリビタキ、
カワセミ、オオタカなどの出現を期待
しましょう。風が冷たい時期です、防
寒対策はしっかりと。

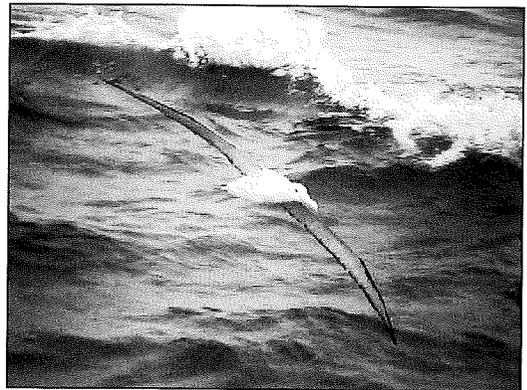
北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月14日（水）
集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前
または午前8時30分、中央エントラン
ス駐車場
交通：東武日光線新越谷 7:11→春日部 7:25

→栗橋 7:54→柳生 8:04 着。または JR
宇都宮線大宮 7:07→栗橋 7:41 着で、
東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。
担当：玉井、大坂、田中、植平、鬼塚、藤澤、
松村

見どころ：野鳥の天国、渡良瀬の平日に、ゆ
っくりと鳥を見ましよう。色とりどりの
カモたちは何種いるのでしょうか。カ
ンムリカイツブリもきっと見られるで
しょう。タカ類も期待できますし、ア
シ原の小鳥たちも併せて楽しみましょ
う。木枯らしが吹き大変寒いので、防
寒対策をお忘れなく。



アホウドリ（編集部）

年末講演会

日時：12月17日（土）午後1時00分開場
会場：埼玉会館7階7B会議室
交通：浦和駅西口から、県庁通りを県庁に向
かって徒歩約5分、右側。
入場料：100円（中学生以下無料）
第1部：午後1時30分～2時45分
ビデオ『振り返るこの1年』『私が出
会ったアホウドリ』など
第2部：午後3時00分～5時00分
講演『アホウドリ保護研究30年』
長谷川博氏（東邦大学理学部教授）
懇親会： に事前申込を。
先着30名。会費：5500円
会場：東昌大飯店（埼玉会館近く）
野鳥に関心がある人で、「アホウドリの長
谷川先生」を知らない人はいないでしょう。
先生が作成した2006年アホウドリ・カレンダー

一も発売する予定です。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月18日(日)午後3時～5時ころ
会場：支部事務局108号室
案内：今年最後の袋づめの日。1年間無事に『しらこぼと』が発送できたのも皆さんの協力の賜物です。来年も引き続きよろしく願いいたします。
ご注意：12月17日(土)に年末講演会がありますので、今月だけ18日(日)に変更です。よろしく。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月18日(日)
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田
見どころ：三室の探鳥会も21回目の年の暮れを迎えます。「三室で鳥を見て、いつもの仲間とおしゃべりしないと正月は来ないな」と言ってくれる仲間がいる限り、リーダーも頑張ります。博物館の皆さんともいっしょに歩きましょう。ぜひどうぞ。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月18日(日)
集合：午前10時10分、森林公園南入口前。
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:59発バスで終点下車。
費用：入園料400円(子供80円)
担当：内藤、佐久間、岡安、藤掛、青山、喜多、後藤、大坂、山田(義)、高橋(優)、高橋(ふ)、藤沢、中村(豊)、林
見どころ：西高東低の気圧配置で空っ風の12月です。風が散らした落ち葉を踏み踏み、陽だまりの林間を抜けて山田大沼まで歩きましょう。池や林に、空に、あなたの期待する鳥が出てくれるといいですね。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月24日(土)
集合：午前8時45分、宇和田公園駐車場。
交通：東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から境車庫行き8:17発バスにて「上宇和田」下車、北に徒歩約5分。
担当：中里、宮下、四分一、栗原、植平
見どころ：新探鳥地です。公園をゆっくりと歩いて、冬の鳥たちとの出会いを楽しみましょう。身近な所にどんな鳥たちがいるのでしょうか。初めてバードウォチングを体験したい方、大歓迎です。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月25日(日)
集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口、または午前9時加須はなさき公園駐車場。
交通：東武伊勢崎線春日部8:21→久喜8:34→花崎8:42着。またはJR宇都宮線大宮8:04→久喜8:24着で東武伊勢崎線乗り換え。
担当：長嶋、中里、玉井、宮下、四分一、栗原、植平、鬼塚
見どころ：公園側と2回目の共催。ジョウビタキやツグミなどの冬鳥たちは長旅の疲れも取れ、日本の冬を楽しんでいるようです。そんな公園の鳥たちを皆で探しましょう。ときめきの出会いがあるかも知れません。初心者の方歓迎。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月3日(火・祝)
集合：午前9時30分、さぎ山公園入口
交通：大宮駅東口7番バス乗り場から、大01、大02、大02-2系統で約20分。「さぎ山記念公園」下車。正月ダイヤの問い合わせは、国際興業さいたま東営業所(TEL 048-812-1577)まで。駐車場ありますが、飲酒運転は厳禁です。
担当：海老原、楠見、工藤、福井
見どころ：なんと18年目！酒類食べ物持参でお集まりください。探鳥会が終わった後、野外の新年懇親会です。



行事報告

7月24日(日) 狭山市 入間川

参加: 31名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ササゴイ ダイサギ アオサギ カルガモ キジ イカルチドリ イソシギ キジバト アオゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシトガラス (27種) 朝の下見でカイツブリの巣を見つけた。見どころの少ない時期だけに皆喜んでた。ただ、カイツブリを少し驚かせてしまったようだ。営巣中の鳥の観察には、十分気をつけなければ。(長谷部謙二)

8月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 26名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ ヒドリガモ トビ キジ バン キジバト カワセミ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシトガラス (23種) さわやかな風が吹いて、割合に過ごしやすい朝だったが、出発する頃にはかなり厳しい暑さになった。土手に上るとツバメが気持ちよさそうに行きかっている。ゴルフ場を抜けて草原に出ると、この暑さの最中セッカが忙しそう



9月11日大麻生探鳥会 その1

に鳴いていた。河原に出るとカワセミが姿を見せてくれた。幸運な数名だけが楽しめた。池ではパン、カイツブリに混じって前回同様ヒドリガモが見られた。越夏をしたものと思われる。皆の体を考えて、短いコースで短時間に切り上げた。

(中里裕一)

8月20日(土) 『しらこぼ』袋づめの会

ボランティア: 10名

新井浩、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、志村佐治、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松村禎夫

8月21日(日) さいたま市 三室地区

参加: 51名 天気: 曇

カワウ ヨシゴイ ゴイサギ コサギ アオサギ カルガモ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシトガラス (21種) お盆が過ぎたが、暑い探鳥会であった。それでも参加者が多くてにぎやかであった。コースを北宿大橋の上流の橋巡りとした。前半は見沼田んぼ、後半は代用水の桜並木の木陰を歩いた。サギ類が4種出現。カワセミも上新宿橋の下をゆっくり旋回して暑さを忘れさせてくれた。(楠見邦博)

8月21日(日) 千葉県船橋市 船橋横浜公園

参加: 38名 天気: 晴

ハジロカイツブリ カワウ スズガモ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ キリアイ キアシシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ ミユビシギ チュウシャクシギ ウミネコ アジサシ コアジサシ ツバメ ハクセキレイ スズメ ハシボソガラス ハシトガラス (23種) 今日暑い。集合後、カラシラサギが出ているとのことで急ぐが、一足違いで見られなかった。キリアイ、ミユビシギなどのシギ・チドリとアジサシを見てから東堤防に行き、夏羽が綺麗に残っているハジロカイツブリとスズガモを見て終了。(佐久間博文)

8月28日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 73名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ チュ

ウサギ コサギ アオサギ カルガモ コチドリ
シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジ
ヨシギ トウネン ハマシギ オバシギ キリア
イ アオアシシギ キアシシギ イソシギ ソリ
ハシシギ オオソリハシシギ セイタカシギ ウ
ミネコ キジバト ツバメ ハクセキレイ ヒヨ
ドリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズ
メ ムクドリ オナガ ハシボソガラス (35種)
昼間にだだら満ちてくる潮回りに、シギ・チドリ
が集まって見やすくなる。秋の渡りの役者がほ
ぼ勢ぞろい。支部のシギ・チドリのファンも勢ぞ
ろい。終了後もしばらく干潟の秋を楽しんだ。

(杉本秀樹)

9月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：45名 天気：曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ マガモ カルガモ トビ ノスリ イソシギ
キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキ
レイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュ
ウカラ ホオジロ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 鳥は少
なかつたけれど、クズ、センニンソウ、ヤブラン
などの野草、エンマ、ミツカド、ツヅレサセコ
オロギたちの演奏会、オニグルミ、ミズキ、ムク
ノキの果実。暑い熊谷に小さい秋を見つけた。

(島田恵司)

9月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：11名

新井浩、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐
久間博文、檜山大介、檜山秀樹、藤野富代、増尾
隆、松村禎夫、山口芳邦

9月18日(日) さいたま市 三室地区

参加：77名 天気：晴

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ
カルガモ キジ バン イソシギ キジバト カ
ワセミ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ エゾ
ビタキ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (22種) 9月の楽しみ鳥・エゾビタキが出
現した。斜面林の梢に止まっていた時代を思い出
した。サギ類も4種出たが、工事の影響で芝川の
水面が広がったからか。これからも工事の影響

を参加者全員で良く勉強しようと思った。

(楠見邦博)

9月19日(月、休) シギ・チドリ類県内調査

ボランティア：21名 天気：晴

青木里美、青木夏美、青木正俊、青木真弓、石井
智、海老原教子、海老原美夫、大勝学、鬼塚勝靖、
小林ますみ、佐久間博文、品川とし子、品川正雄、
島田恵司、島田沙織里、檜山大介、檜山秀樹、福
井恒人、松村禎夫、山田東二、山田良子 ◆ さい
たま市の大久保農耕地で行った。結果は後程報告。

(石井 智)

9月19日(月、休) 坂戸市 高麗川

参加：53名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ オシドリ カルガモ オオタカ キジ コチ
ドリ イカルチドリ イソシギ キジバト カワ
セミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグ
ロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ シ
ジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ムクド
リ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
(29種) モズの高鳴きする姿が見え、定番のカワ
セミが、そしてコチドリ、イカルチドリも観察で
きた。暑い日だったが、コースの最後までがんば
って行ったら、オシドリ♂♀の綺麗な姿が見られ
た。鳥合わせは城山橋の堰近くの木陰まで戻り、
初めて参加された方々には、一言感想を頂いた。

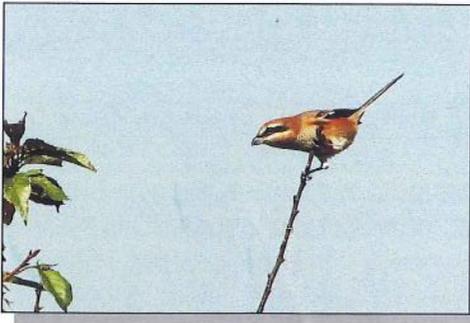
(藤掛保司)

9月25日(日) 狭山市 入間川

雨のため中止。



9月11日大麻生探鳥会 その2



モズ (落合英二)

連絡帳

●鳥獣保護区拡大に賛成意見

熊谷市と江南町の立正大学・文殊寺鳥獣保護区を 41ha から 101ha に、さいたま市などの荒川南部鳥獣保護区を 1685.9ha から 2070.6ha (上江橋まで) に拡大する件について意見を求められ、県みどり自然課に対し、賛成の意見書を提出しました。

●支部のホームページ改造中

長い間更新できないで、ご迷惑をお掛けしています。毎月更新しなければならぬ部分をできるだけ少なくする省手間スタイルに改造したらどうかと、現在試作版を作成しています。近い内に URL が変更になると思います。

●同封発送に広告も同封

『野鳥』誌と『しらこぼと』同封でお送りする方法を、第 3 種郵便から冊子小包に変更していますが、それに伴い広告類の同封が容易になりました。今後広告収入拡大のために、例えば会員制リゾートホテルや健康食品など、会の活動とあまり接点のないものも同封されるようになります。『野鳥』誌 12 月号でもご説明します。ご理解をお願いします。

●全日空ホームページで北海道の自然情報

全日空ホームページの中の「旅プラス」というページ <http://www.ana.co.jp/travelplus/> の中央付近にある「どさんこ日報」をクリックすると、野鳥の会発の自然情報が見えるようになりました。週 1 回程度の更新を目指します。

●普及活動

10 月 15 日(土)に開催された本庄市役所学校教育課主催の「本庄子供ボランティア体験スクール」で、市内の小学 5、6 年生の代表相手に、町田好一郎が講演とバードウォッチング指導を行いました。

●事務局の予定

12 月 3 日(土)編集部・普及部会議。

12 月 10 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。

12 月 18 日(日)袋づめの会(午後 3 時から)。

ご注意：12 月 17 日(土)に年末講演会がありますので、今月だけ 18 日(日)に変更です。よろしく。

12 月 18 日(日)役員会(午後 5 時から)。

●会員数は

11 月 1 日現在 2,352 人です。

活動報告

10 月 8 日(土) 11 月号校正(海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・藤掛保司・山田義郎)。同日夜、本部常務会に出席(海老原美夫)。

10 月 16 日(日) 役員会(司会：大澤あつし、鳥獣保護区に対する意見・支部ホームページ・その他)。

10 月 20 日(木) 11 月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

デジカメを去年の夏になくし、しばらくそのままでしたが、子供の運動会の前に 10 倍ズームコンパクトデジカメを特売で買いました。これがなかなか良くて、今、虫の撮影にはまっています。(藤原)

しらこぼと 2005 年 12 月号(第 260 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社